

野外活動プログラム

すみか小屋
づくり

足柄ふれあいの村の森と、村内で拾える自然材を利用して、グループごとに”基地”を作ってみませんか？グループのミーティングや野外炊事の食事などグループの結束を深める取り組みになります。



(1) ねらい

村内で拾える自然材を見つけることにより足下の自然への気づきや、グループ内のコミュニケーションが活発になり、グループでの活動がより円滑になることをねらいとします。

(2) 計画するにあたり

- 【 時 間 】 2時間以上 (対象によって実施時間は異なります)
- 【 人 数 】 1グループ8～10人程度
- 【 場 所 】 村内の木立が密集している場所
- 【 対 象 】 小学校中学年以上
- 【 持 ち 物 】 麻ロープ (綿ロープでも可)、ポロ布 (新聞紙でも可)、ビニールシート 画用紙 (看板用)、マジック

(3) 展開方法

事前

【事前の申し込み等】

- ・活動計画書にプログラム名を明記します。

打合せ

【場所の確認等】

- ・実施する人数とそれに見合う場所の確認をします。
- ・プログラム進行の確認をします。
- ・拾った自然材の片づけ方法を確認しておきましょう。

準備

- ・グループに必要な物品を準備します。
- ・プログラム進行に伴う留意点を指導者に周知します。

実施

- ・グループに割り当てられた材料を配布します。
- ・決められた範囲の中でグループごとに設置場所を決めます。
- ・どんなすみかにするかグループ内で話し合います。
- ・すみかにどのような材料が必要かをグループ内で話し合います。
- ・村内で拾える自然材を集め、組み立てをします。
- ・すみかの住人の看板を作ります。

片づけ

- ・ビニールシートなどを下に敷いて、座れるようにします。
- ・できあがったすみかを各グループごとで見てください。

終了後

- ・グループ内で、うまくいった点、うまくいかなかった点等を話し合います。
- ・周辺にゴミを残さないように片づけを行ってください。

(4) 留意点

○安全上の留意点

- ・木立に張ったひも (ロープ) で首などを引っかかないように、タオルや、バンダナ等で、ひも (ロープ) 等が張ってあることを知らせましょう。
- ・すみか小屋を作る場所のまわりに危険箇所がないかを、事前に確認しておきましょう。

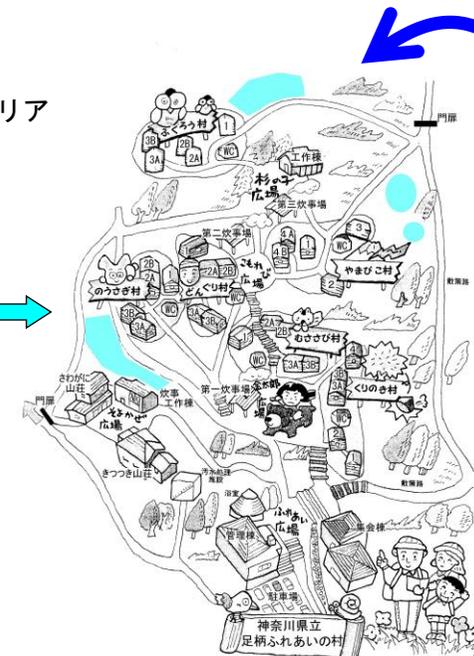
○指導上の留意点

- ・設置する樹木を傷つけないようにポロ布や新聞紙等で保護しましょう。
- ・人工物をなるべく使わないようにして、自然の風景に溶け込むようなすみか小屋にしましょう。
- ・樹木をそのまま屋根の代わりにするなど、自然の形を生かした設計にしましょう。
- ・作ったすみかでやることを有効的に活用するプログラムを事前に用意しておきましょう。
- ・すみかを作る場所が、他団体のコテージの付近でないかまたは、迷惑がかからない場所であるかを確認しておきましょう。

(5) その他

○すみかづくりができるエリア

すみか小屋ができるエリア



すみか小屋ができるエリア